

令和 4 年度堅果類の豊凶状況および出沒予測について

1 堅果類の豊凶状況

○高標高域（奥山）

- ・ブナ：県内 13 地点、260 本を調査し、90%の調査木の着果を確認
県全体の作柄※は不作
地点ごとの作柄は、豊作 2 地点、並作 4 地点、不作 7 地点、凶作 0 地点
- ・ミズナラ：県内 14 地点、280 本を調査し、93%の調査木の着果を確認
県全体の作柄※は並作（県内の）
地点ごとの作柄は、豊作 2 地点、並作 5 地点、不作 7 地点、凶作 0 地点

○低標高域（里山）

- ・コナラ：県内 14 地点、280 本を調査し、98%の調査木の着果を確認
県全体の作柄※は並作
地点ごとの作柄は、豊作 4 地点、並作 6 地点、不作 4 地点、凶作 0 地点

※作柄（実り量）の多い順に、豊作（密に着果の木が 50%以上） > 並作（密に着果の木が 25～50%）
> 不作（密に着果・疎に着果の合計が 25%以上） > 凶作（密に着果・疎に着果の合計が 25%未満）

○県全体の作柄と年次比較

豊：豊作、並：並作、不：不作、凶：凶作

樹種	R04	R03	R02▲	R01▲	H30	H29	H28	H27	H26▲	H25	H24	H23	年次比較
ブナ †	不 23	並 28	凶 0	凶 0	不 12	不 16	凶 1	不 17	凶 0	並 25	凶 0	豊 84	H23>R03>H25>R04>H27>H29>H30 >H28>R01>R02=H26=H24
ミズナラ †	並 27	不 5	不 6	凶 1	並 41	不 22	並 29	不 7	不 4	不 14	並 28	並 26	H30>H28>H24>R04>H23>H29>H25 >H27>R02>R03>H26>R01
コナラ †	並 33	不 17	不 5	不 6	不 33	並 32	不 13	不 8	不 10	不 17	並 32	並 30	R04=H30>H24>H29>H23>H25>R03 >H28>H26>H27>R01>R02

†：作柄の下の数値は県全体の調査木における密に着果した割合（%）

年次比較は、「密に着果した割合」の%順に記載。 ▲ H26、R01、R02 は、秋にクマが大量出沒した年

2 夏場の出沒状況

- ・今年の 6 月～8 月の出沒件数は、平成 30 年以降で最も少なく、出沒傾向は、平成 30 年、令和 3 年（ともに大量出沒しなかった年）と同様に 8 月に減少した。
- ・一方、小浜市口田縄地区での家屋侵入や、坂井市三国町陣ヶ岡地区等での出沒（これまで例のない場所での危険な出沒）がみられた。

3 秋以降の出沒予測に関する現時点での総合的判断

- ・本年は、大量出沒年となる「ブナが凶作であり、ミズナラが凶作または不作といった両樹種ともに着果不良」ではなく、ミズナラ、コナラは、令和 3 年よりも良好である。
このため、本年秋は、県内全域での大量出沒に至る可能性は低いと判断される。
- ・しかし、近年クマの生息範囲が拡大しており、集落周辺の里山に恒常的に生息しているクマが、餌を求めて集落に出沒する恐れがあり、警戒が必要である。